



日本消費者教育学会第28回全国大会研究発表会会場で ACAPミニ消費者啓発展



休憩・昼食用の研究室で開催された
ACAPミニ消費者啓発展



多くの先生、学生が啓発資料を吟味し持ち帰る

毎年、日本消費者教育学会では、10月～11月に全国大会「総会、講演会、研究発表会」を開催している。

ACAPは、同学会の維持会員であることから、毎年、学会役員との研究交流会とともに、全国大会の会場にて消費者啓発展を開催し、会員企業が作成した消費者啓発資料の展示・配布を行っている。

本年は、全国大会が10月11日(土)～12日(日)に札幌の北海道立道民活動センター 8階研修室にて開催され、1日目の11日に総会・講演会が開催され、翌日の12日に研究発表会が開催された。

ACAP消費者啓発展は、約100名が参加する大会2日目の研究発表会での開催となった。各研究発表会場がフロアごとに別となるため、展示は参加者が集まる休憩・昼食用の研修室となったが、消費者教育学会北海道支部からの応援の学生の力も借りて準備を行い、展示に臨んだ。

基本的に、昼食時の1時間が一番の勝負であったが、昼食後も、消費者教育学会の先生や応援の学生などが随時立ち寄られ、資料によって人気度に多少の違いはあったものの、時間内に30種類が全て配布できた。

消費生活センターの相談員の方々などから、個別資料の内容や、相談員の皆さんの勉強会での活用などについて要望や照会もいただいた。

また、学会に参加されている先生方から、来年の日本家政学会の全国大会での開催などの打診もいただき、消費者啓発展は、啓発資料の配布だけではなく、ACAPの啓発活動の幅を広げるなど、良いPRの場ともなることを実感した。